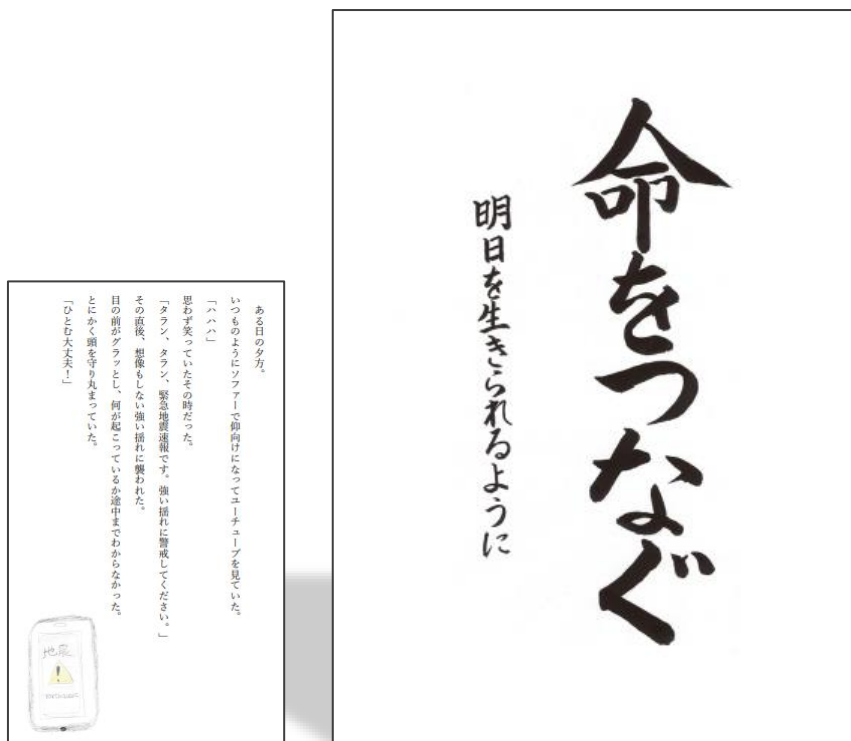


高知県土佐市立
蓮池小学校



令和4年度



防災小説



PR動画

令和5年度

学級活動

国語

図工

社会

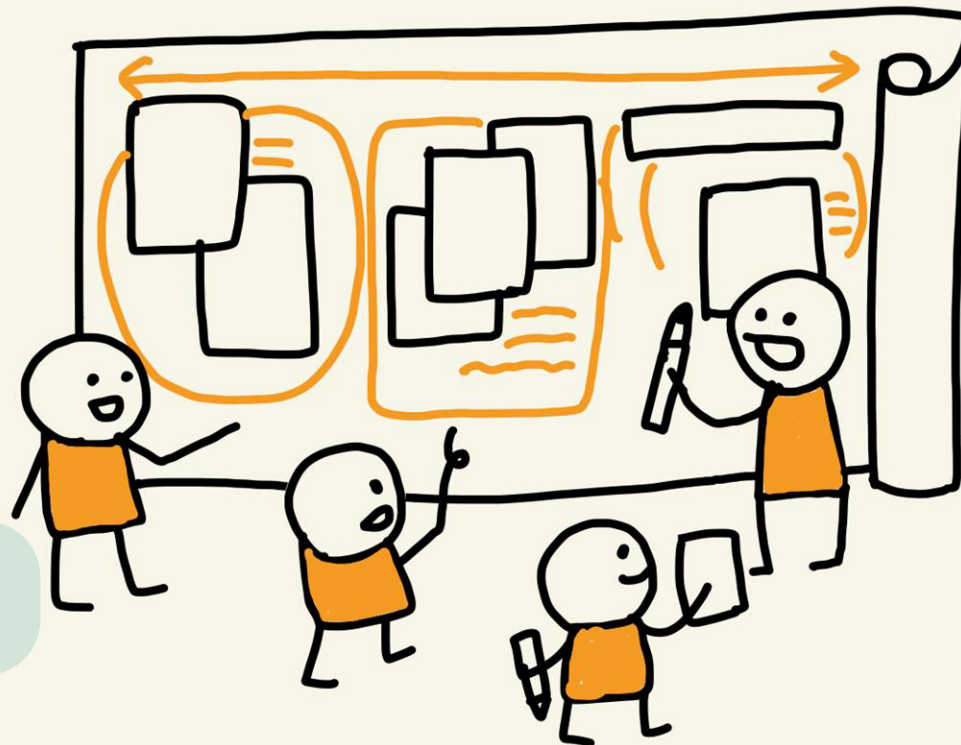
保健体育

総合的な学習の時間

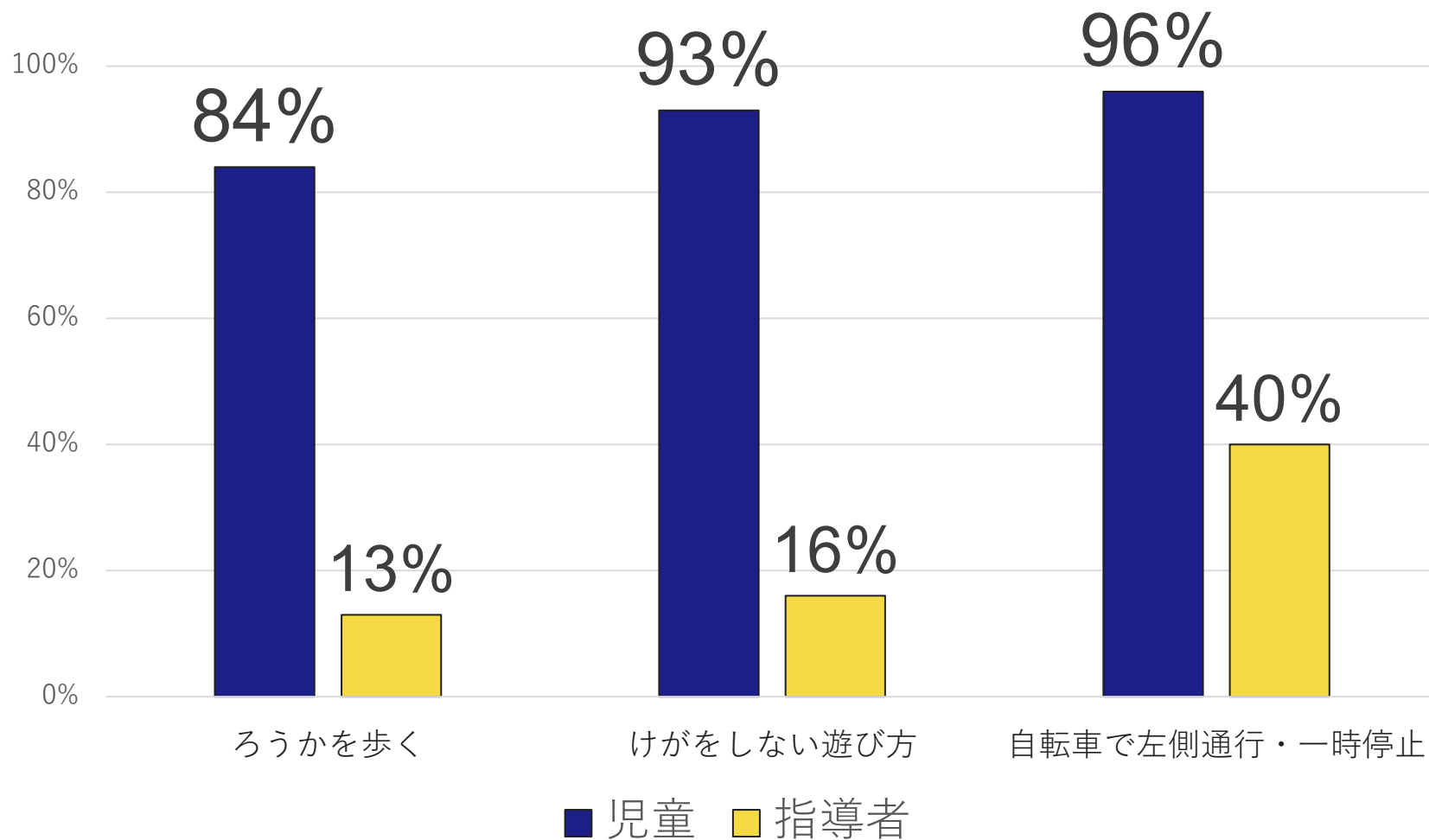
道徳

生活

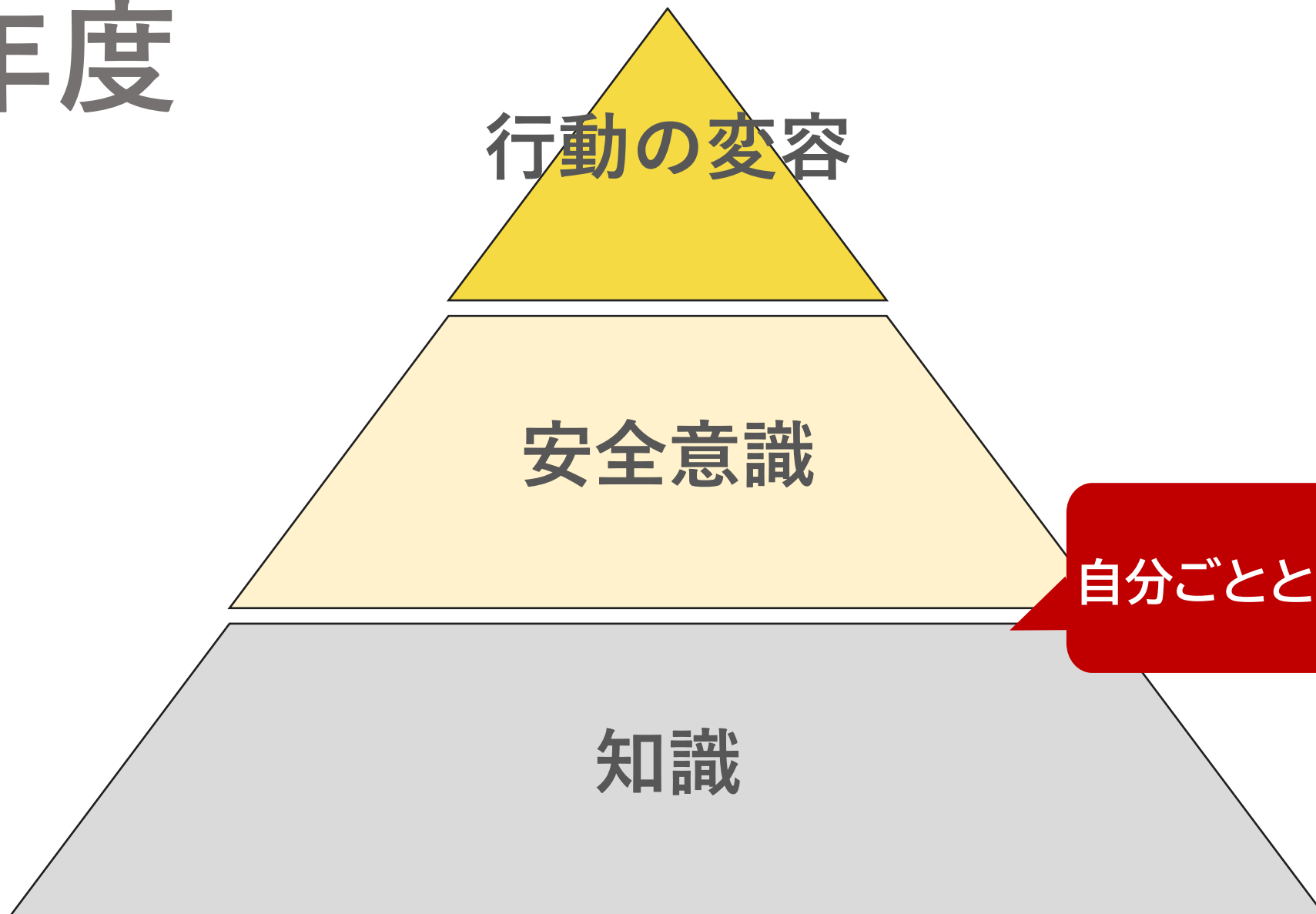
理科



安全アンケート（令和6年5月）



本年度



本年度の研究授業（全校研）

6B
理科

「変わり続ける大地」

3A
国語科

「『わたしの通学路』
の説明文を書こう」

1B
学級活動(2)
「道路での飛び出し」

授業で積み上げてきたこと

蓮池版 自分ごととして捉えるために・・・

- ・ 危機感
- ・ やってみたい
- ・ 相手意識
- ・ 目的意識
- ・ ロールプレイ
- ・ バッドモデル
- ・ 身近なことで

評価について

知識



蓮池版 検定など

意識



アンケート
(児童の主観)

行動



アンケート(客観的)
効果測定(録画)

A	B	C
90~100%	70~89%	~69%

評価項目①



評価項目②



評価項目③



全校の評価項目

評価項目①



校内では走らず歩いて移動することができる。

★効果測定（録画） **90%**（指標）



★評価（7月） **59%**（評価C）

評価項目②



評価項目③





評価項目②



けがをせずに気をつけて遊ぶことができている。

★けがの件数（保健室より）・・・**90%**（指標）



★評価（7月）・・・・・・・・・・..**68%**（評価C）

評価項目① 評価項目②



評価項目③



自転車に乗るときは交通ルール

(左側通行・一時停止) を守ることができている。

★地域・保護者アンケート **100%** (指標)

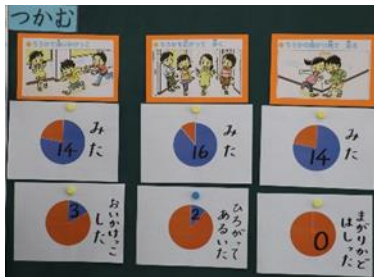


★評価 (7月) **79%** (評価B)

1年生 学級活動(2)オープン授業

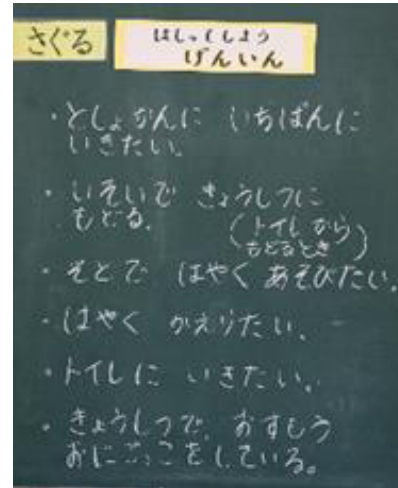
「ろうかの歩き方を考えよう」

つかむ



- ・アンケートのズレに気づかせる。
- ・円グラフを色分けしていたことで、ズレが一目でわかる。

さぐる



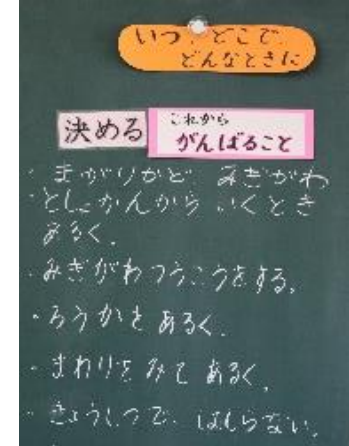
- ・正直に発表していた子を価値づける。そのことにより、自分のことを正直に発表することができる。

みつける



- ・実際に全児童で行動を確かめることで、自分たちの行動の間違いに気づかせる。
- ※写真は曲がり角をロールプレイすることで右側通行について確認している。

きめる



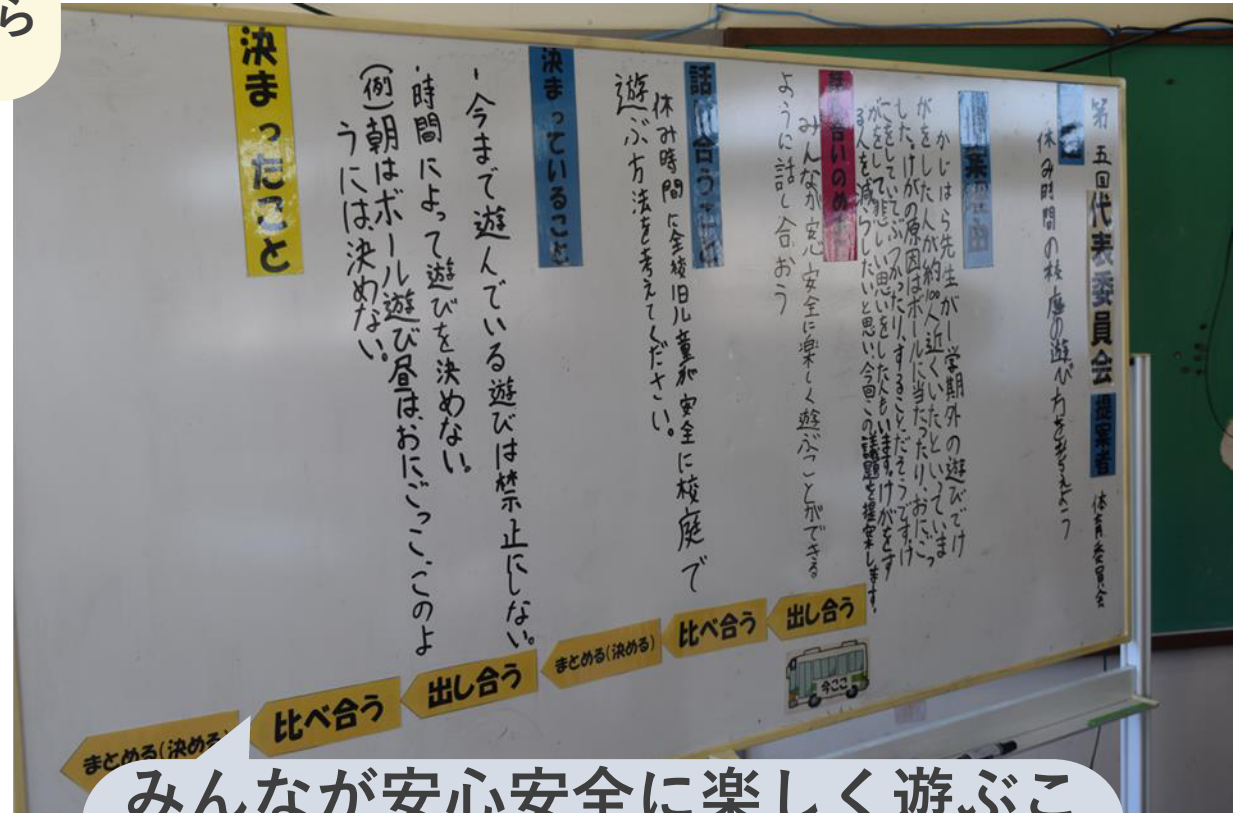
- ・全員に全体場で発表させ、意思決定させることができていた。



代表委員会での話し合い

どんな方法が考えられますか？

1年生～6年生までいるので……

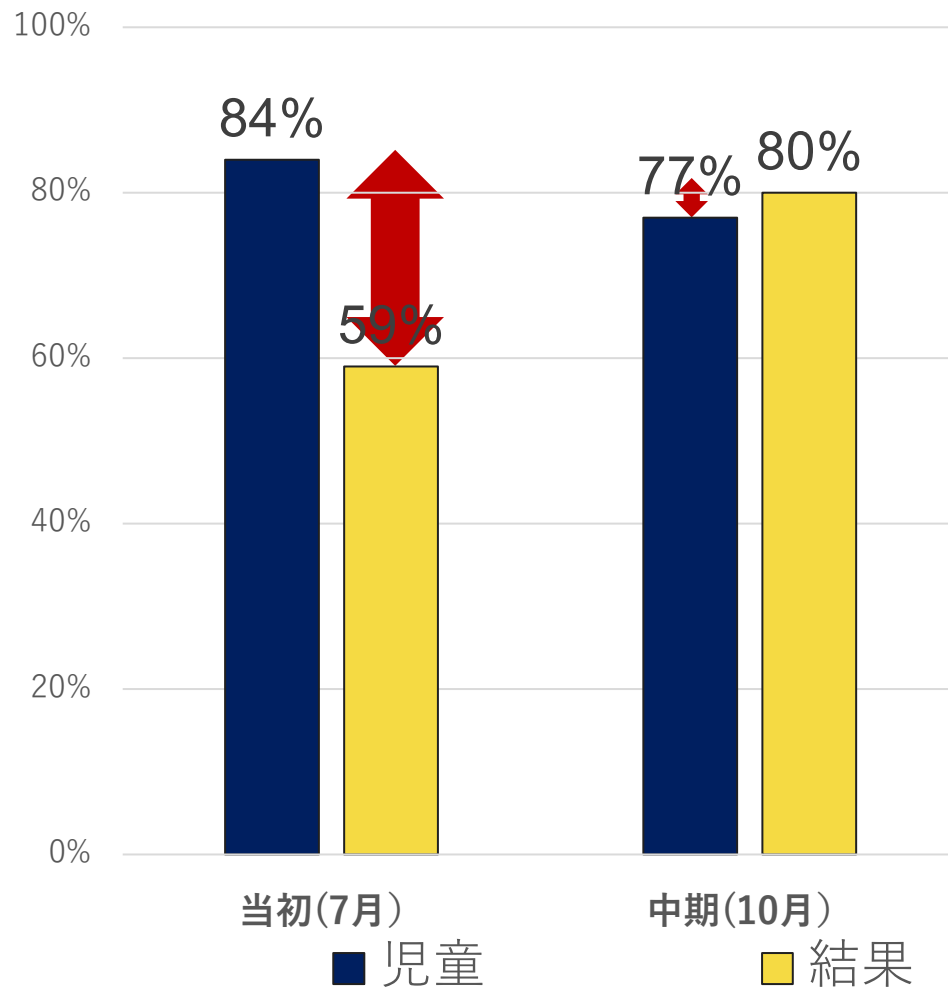


みんなが安心安全に楽しく遊ぶことができるように話し合おう

全校での取り組みの検証結果（中期）

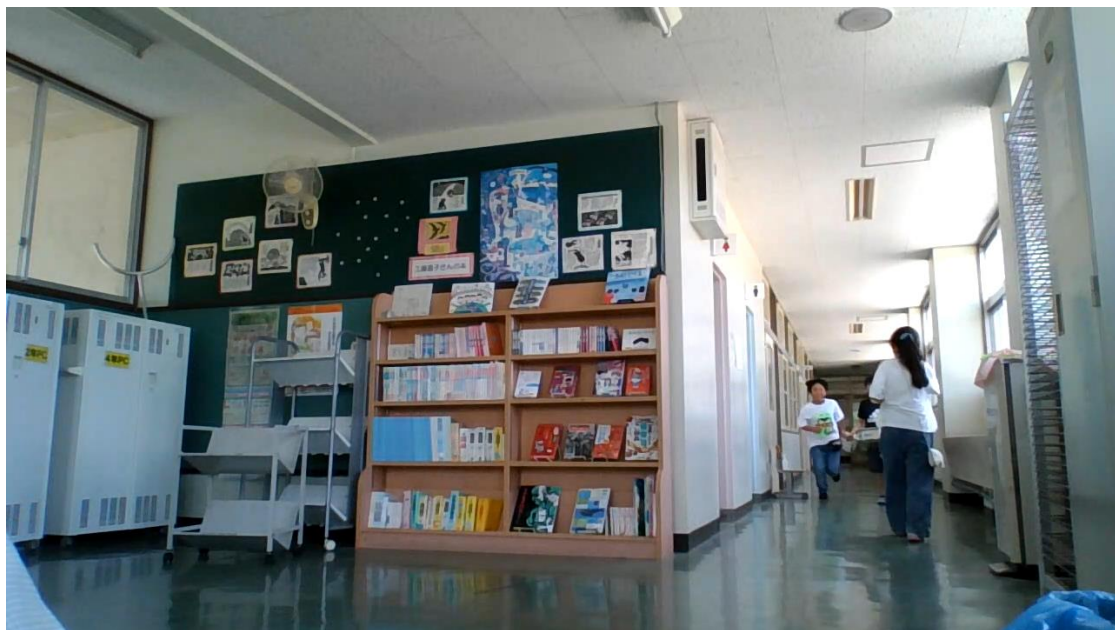
評価	指標	7月	10月
校内では走らず歩いて移動することができる。	90%	59% 評価C	80% 評価B
けがをせずに気をつけて遊ぶことができる。	90%	68% 評価C	79% 評価B
自転車に乗るときは交通ルール（左側通行・一時停止）を守ることができる。	100%	79% 評価B	

意識調査と結果（校舎内を歩く）



意識と実態
ズレの減少

効果測定検証（2階ギャラリー）



7月検証（1回目）



10月検証（2回目）

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



各学年の評価項目

1年生



2年生



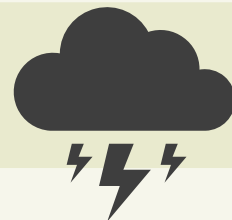
3年生



4年生



5年生



①線状降水帯によって起こる

災害の備え方について知っている。

★洪水・土砂災害検定

②ハザードマップなどで地域の災害リスクや
避難場所，避難経路，連絡方法などを
家族で確認している。

★マイ・タイムライン作成

6年生



検定の作成（5年）

土佐市 洪水
Tosacity hazardmap

土砂 津波

ハザードマップ

目次

防災情報の伝達と手段	1	洪水・浸水害について	7
マイ・タイムライン	2	土砂災害について	8
わが家の防災対策	3	地震対策について	9
非常用持出品及び備蓄品	4	津波対策について	10
警戒レベルを用いた避難情報	5	洪水・土砂ハザードマップ	11
避難行動ガイド<台風・豪雨時>	6	津波ハザードマップ	27
		指定緊急避難場所・指定避難所一覧	31
		避難所の運営<大規模災害時>	33

土佐市



警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベル
警戒レベルは、次第に備えて住民がとるべき行動を知らせるために5段階レベル分けしたものです。それぞれの警戒レベルに相当する情報を、**早め**の避難行動の判断に役立てます。

警戒レベル一覧

警戒レベル	避難情報等	防災気象情報
警戒レベル5	命の危険 直ちに安全確保! 命が危険な状況です。命を守るための準備の動きをとりましょう。	緊急安全確保 土砂災害発生 （土砂災害警戒レベル5） 大雨特別警報 等
警戒レベル4	危険な場所から全員避難 速やかに洪水浸水等（指定避難所）や危険の多い場所、自宅内の2階以上など、高い場所に避難しましょう。	避難指示 （指定緊急避難場所） 警戒レベル4相当情報 （土砂災害警戒レベル4） 大雨特別警報 等
警戒レベル3	危険な場所から高齢者等は避難 避難に準備をする人（高齢の方、障害のある方、高齢者等）とその家族等は避難所へ避難しましょう。その他は、避難の準備を済ませましょう。	高齢者等避難 （指定緊急避難場所） 警戒レベル3相当情報 （土砂災害警戒レベル3） 大雨特別警報 等
警戒レベル2	自らの避難行動を確認 避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意情報 （気象庁が発出） 警戒レベル2相当情報は、自らの避難行動を確認するための参考とする情報です。 （土砂災害警戒レベル2） 大雨特別警報、気象庁、気象庁が発出）
警戒レベル1	災害への心構えを高める 災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 （気象庁が発出）

気象庁からの注意報・警報

大雨・洪水注意報 大雨により災害が発生するおそれがあるため、注意を促すために発表されます。	大雨・洪水警報 大雨により重大な災害が発生するおそれがあるため、注意を促すために発表されます。	大雨特別警報 台風や豪雨等により、特に甚大な被害となるおそれがあるため、注意を促すために発表されます。この警報が発出している間は、避難行動を早めに行ってください。
---	---	---

マイ・タイムライン

「マイ・タイムライン」は一人ひとりの防災行動計画

マイ・タイムラインは、大雨や台風などの自然災害から私たちが自分を守るための防災行動計画です。私たちが一人ひとりがあらかじめ避難行動をまとめておくことで、あなたと家族の行動がはっきりし、いざという時に慌てずに避難できます。

5段階の警戒レベルを確認して避難行動に関する状況やタイミングを知る。避難行動が早くなります。マイ・タイムラインを作成しましょう。

マイ・タイムラインが自分の命や身近な人の命を守ることに繋がります。

災害情報を事前に把握 予測できる災害

- 大雨・土砂災害
- 台風
- 高潮
- 大雪

予測が難しい災害

- 火山の噴火
- 地震・津波
- 台風
- 高潮

マイ・タイムライン作成の段階（※）
① 警戒レベル5発生時にマイ・タイムラインの避難行動や準備を確認
② 避難行動にマイ・タイムライン作成で記入した避難行動や準備を活用

土砂災害について

地域の土砂災害の危険箇所を確認する

土砂災害の恐れのある地域は「土砂災害（特別）警戒区域」に指定されています。お住まいの地域が指定されているかどうかを確認しておきましょう。

土砂災害 特別警戒区域（レッドゾーン）
土砂災害の恐れがある地域

土砂災害 警戒区域（イエローゾーン）
土砂災害の恐れがある地域

警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保!
警戒レベル4 危険な場所から全員避難
警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難
警戒レベル2 自らの避難行動を確認
警戒レベル1 災害への心構えを高める

土砂災害警戒情報に注意

土砂災害警戒情報は、避難が実施されるとき、強、強の付いておられることにより土砂災害発生、発生のおそれがある状態が予測されることを知らせる情報です。土砂災害警戒情報は、土砂災害発生や発生のおそれがある状態を知らせる情報です。早めの避難行動をお願いします。

キキクル（危険度分布）って何？

キキクル（危険度分布）とは、警戒レベル5から1まで、強、強の付いておられることにより土砂災害発生、発生のおそれがある状態が予測されることを知らせる情報です。土砂災害警戒情報は、土砂災害発生や発生のおそれがある状態を知らせる情報です。早めの避難行動をお願いします。

国土交通省、気象庁、気象庁が発出）

土佐市「洪水・土砂・津波」ハザードマップ



洪水災害・土砂災害 検定 参考文献：土佐市ハザードマップ

名前（ ）

- 当てはまるものに○をしましょう。
 - 洪水災害・土砂災害は、事前に予測（できる できない）
 - 土砂災害の多くは、（風 雷 雨）から起こります。
 - 洪水災害・土砂災害の被害を防ぐには、（家にいる 早めの避難 周りの人を見て避難）することが大事です。
 - 洪水災害・土砂災害の危険度が高まっているものを知ることができる情報は、（スグクル キキクル ミテクル）です。
- 次の問題について、自分が正しいと思う答えを書きましょう。
 - 県や気象庁から出される情報は危険度別に色分けされています。危険度が高い順にその色（ ）から選び書きましょう。
（赤・白・紫・黄色・黒）

警戒レベル5 警戒レベル4 警戒レベル3 警戒レベル2 警戒レベル1

⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

②自分の家族は上記のどの警戒レベルで避難しなければなりません。また、その理由も書きましょう。

学年の検証結果(中期)※5年生

洪水災害・土砂災害 検定 参考文献：土佐市ハザードマップ

名前 ()

1. 当てはまるものに○をしましょう。

①洪水災害・土砂災害は、事前に予測 (できる / できない)

②土砂災害の多くは、(黒 / 雷 / 雨) から起こります。

③洪水災害・土砂災害の被害を防ぐには、
(家にいる / 早めの避難 / 周りの人を見て避難) することが大事です。

④洪水災害・土砂災害の危険度が高まっているものを知ることができる情報は、
(スグクル / キキクル / ミテクル) です。

2. 次の問題について、自分が正しいと思う答えを書きましょう。

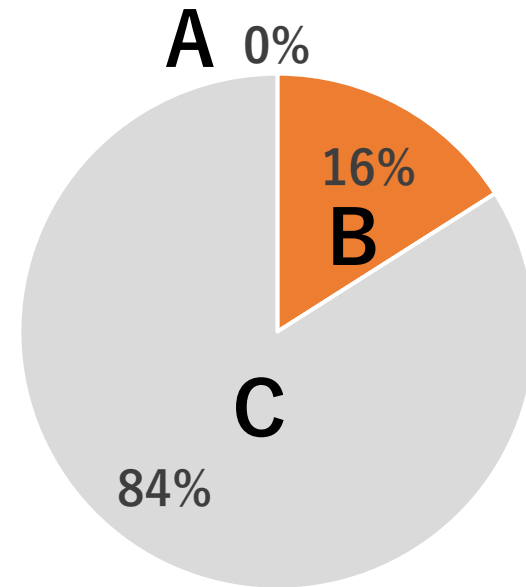
①県や気象庁から出される情報は危険度別に色分けされています。危険度が高い順にその色 () から選び書きましょう。

(赤・白・紫・黄色・黒)



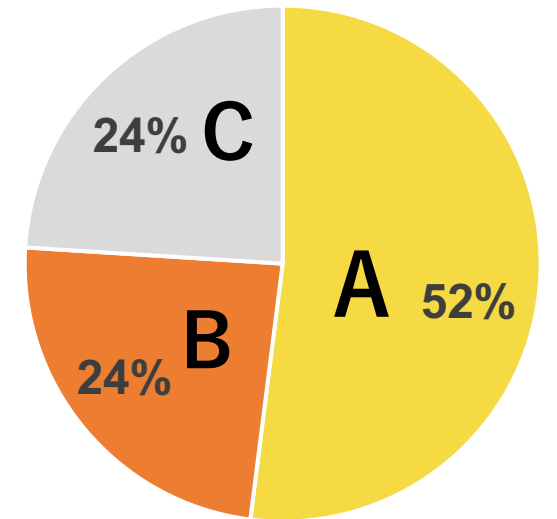
②自分の家族は上記のどの警戒レベルで避難しなければならないですか。また、その理由も書きましょう。

洪水・土砂災害検定(7月)



■ A評価 ■ B評価 ■ C評価

洪水・土砂災害検定(10月)



■ A評価 ■ B評価 ■ C評価

05 成果と課題

成果

- ・ 行動の変化や知識の向上の可視化

評価を取り入れることで、現段階の子どもたちの様子が分かり、次への改善へとつなげることができた。

- ・ アンケートを活用することで「自分ごと」と捉えさせた

子どもたちは「自分はできている」と感じていたが、安全アンケートをもとに自分を客観視して問題を自分ごととして捉えることで、意識が変わり、行動の変容につながった。

05 成果と課題

課題

・子どもたちに委ねる

学級活動(2)や教科を通して授業を進めてきたが、今後は教師主導ではなく、子どもたち主導の安全教育を行うことで、より「自分ごと」として捉えさせていく。



ご清聴ありがとうございました

